資料3-1

桑名市在宅医療•介護連携

支援センターの役割

~医療と介護が連携した在宅医療を進めるために ~

平成27年10月13日(火) 中央保健センター 健康教育室 桑名市在宅医療・介護連携支援センター

桑名市在宅医療・介護連携支援センターの設立

◎背景 団塊世代が高齢化を迎える2025年問題への対処。



- ・在宅医療の推進体制を構築し、医療・介護の内容を「地域完結型医療」にシフトさせていく。
- ・桑名市在宅医療・介護連携支援センターを桑名市から桑名医師会への委託事業として 桑名医師会内に本年5月21日に開設。
- ◎ 平成27年7月1日に桑名市在宅医療・介護連携支援推進協議会を発足させた。
- 在宅医療・介護連携支援については、これらの業務に関係するオール桑名で取り組む。

桑名市在宅医療•介護連携支援推進協議会規約(抜粋)

(目的)

第1条 多職種連携による在宅医療・介護の支援体制の構築を図るとともに、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供 について検討するため、桑名市在宅医療・介護連携支援推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(協議事項)

協議会は、次の事項について協議する。

- (1) 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討
- (3)効率的で質の高い医療提供のための多職種連携
- (5) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動
- (7) その他目的達成に必要な事項

(2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

- (4) 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み
- (6) 医療・介護支援システム機能の導入

(組織)

協議会委員は、下記に定める関係者を委員として組織する。

- 桑名市代表 (2) 桑名医師会代表
- (3) 桑員歯科医師会代表 (4) 桑名地区薬剤師会代表

桑名市総合医療センター代表

- (6) 県介護支援専門員協会桑員支部代表
- 県訪問看護ステーション協議会桑名支部ブロック会代表 (8) 桑名訪問介護事業者連絡協議会代表
- (9) 桑名地域MSW部会世話人 (10) その他会長が必要と認める者

桑名市在宅医療・介護連携支援センター

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスが連携する相談窓口です。

①在宅医療・介護に関する相談及び連絡調整 を行います。 退院支援が必要な場合には、円滑な在宅療養への移行に向けての調整支援を行います。



②地域の医療・介護サービス資源を把握します。 在宅医療・介護資源調査を実施します。





③在宅医療・介護サービスの情報共有支援 を行います。

情報共有ツールの電子連絡帳を活用し、医療・介護関係者等での情報共有支援を行います。





④在宅医療・介護関係者の研修会 を開催します。 医療および介護関係者に対する医療・介護研修会を開催します。



利用者等の急変時等に対応できる連絡体制の整備を行います。



⑥地域住民への普及啓発 を行います。

在宅医療・介護サービスに関する講演会開催、ホームページやパンレット等を作成し 在宅医療・介護連携の啓発を行います。



医療機関・介護事業所に対する在宅医療・介護資源調査の実施

	地域資源調査	在宅医療意識調査
目的	桑名市内の医療機関と介護事業所等の 住所や機能等を把握し、医療と介護の 連携支援に活用するとともに、地域住 民の方に必要な情報を提供する	現在の、医療機関、介護事業所等での 在宅医療提供や連携の状況や、在宅医 療に関する意識を調査し、今後の在宅 医療支援体制の整備と推進につなげる。
調査票	「くわな在宅医療・介護マップ」作成 に関する調査票	在宅医療に関する意識調査
調査対象機関	病院・診療所・歯科診療所・薬局・居宅介護支援事業所・訪問看護事業所・ 訪問リハビリテーション事業所・訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護事 業所・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所・通所介護事業所・通所リハビ リテーション事業所 (約420機関)	

	地域資源調査	在宅医療意識調査
成果物	●市民公開用 「くわな在宅医療・介護マップ」	●市民公開用 桑名市の在宅医療・介護意識調査 に関する報告書
	PDF形式で桑名市のホームページに掲載 (桑名医師会ホームページとゆめ・はま ちゃん医療介護ネットワークとリンク)	(桑名市の在宅医療・介護に関する 意識の現状把握と課題抽出)
	●医療・介護関係機関用 在宅医療・介護地域資源リスト	PDF形式で桑名市のホームページに掲載 (桑名医師会ホームページとゆめ・はま ちゃん医療介護ネットワークとリンク)
	地域包括支援センター及び 医療・介護関係機関に配布	
調査方法	インターネット形式 調査用のWebページを作成し、各医療機関・介護事業所にIDとパスワードを 発行する。IDとパスワードでログインし、Webページ上で回答	
	※希望により、郵送での調査に対応	

在宅医療・介護サービスの情報共有の支援

電子@連絡帳を用いた医療・福祉統合ネットワーク 「ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク」

- ・桑名市内の医療・介護・保健・福祉等の在宅療養に関わる多職種間での情報共有を行う。
- ・かかりつけ医を中心として、多職種間との情報連携と情報共有を行い、それぞれの立場から患者に関する情報を発信し、患者に対する適切な対応をすばやく実施していく。



電子@連絡帳を用いた医療・福祉統合ネットワーク

「ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク」

ゆめはまちゃん 医療・介護ネットワーク のポータルサイト画面



在宅医療・福祉統合ネットワーク

ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク



ホーム

ゆめはまちゃん医療・介護ネットワークとは

サポート窓口

お知らせ

2015年04月08日 お知らせが入ります。

2015年04月06日 ボータルサイトの準備中です。

ゆめはまちゃん 医療・介護ネットワーク 利用規約



ゆめはまちゃん 医療・介護ネットワーク 説明書・同意書 ✓





電子@連絡帳





利用開始



利用には事前の利用者登録と利用証明書のイン ストールが必要です。施設登録から進めてくだ さい。既に施設を登録済みの場合は、施設管理 暫に利用者アカウントをご確認ください。 既に **要録されている方は、証明書の歌得をしてくだ** さい。

証明書インストール手順

初回の証明書設定 🔒



施設管理者メニュー

- 施設營銀申请
- · 利用者管理 🚵
- · 証明書管理 🔐
- 利用廃止申請

電子@連絡帳誕生の背景

地域医療連携と地域包括ケアの融合

地域医療連携

病診連携

地域連携パス

電子@連絡帳

在宅医療・福祉統合 ネットワークシステム

地域包括ケア

在宅医療・介護 地域包括ケアシステム





かかりつけ医

- ・ 在宅への移行(厚生労働省の指 針)
- 医療機関の機能分担、強化
- 地域医療連携体制の構築

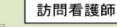
回復期病院



顔の見える関係作

【開発ツール】 地域連携パス _{電子版}

多職種間・異業種間の 情報連携と共有







訪問看護事業所

- 移動時間も捻出する業務効率化
- 広範囲に点在する多職種の情報共有

介護福祉士等





【開発ツール】

電子連絡帳地域包括ケアシステム

訪問介護事業所

電子@連絡帳の基本機能 ①

見る

見るだけで、簡単に情報共有。

基本的な使い方は、自分が担当している患者、プロジェクト等をただ見るだけ。

支援チームの発言や資料など、まとめて見る事が出来ます。

時系列だから分かりやすい。

支援チームの記事や資料は、時系列で分かりやすく 表示。患者のケア状況についても、前後の流れが把 握しやすくなっています。

他のメンバーのやり取りもわかる。

支援チームの医師や看護師、薬剤<mark>師、ケアマネージャー等の支援チーム間で行われているやり取りが</mark>ー目でわかります。

使い慣れている機器で利用できる。

パソコン(Windows, Mac)、スマフォ・タブレット、携帯などとつかって利用できます。もちろん、セキュリティは医療情報が扱えるぐらい万全。



雷子@連絡帳



書き込む

好きなときに、好きな場所で。

連絡したい事や共有したい資料がある場合には、その場で伝言メモを残す感覚で書き込んでください。 他のメンバーが都合の良いときにすぐ確認できます。

メール感覚で資料を登録。

診療情報や申送り、FAXなど支援チーム間で共有したい資料は、写真にとって登録するだけでOKです。 メールを送る手軽さで共有できます。

メンバーしか見ないから安心。

あなたの記事は、支援チームのメンバーしか見る事ができません。メンバー外やサービス提供者も見る事ができません。特別便を利用すればメンバー内の特定の人とだけのやりができます。

項目を選ぶだけで様式ができる。

介護事業に必要な主治医意見書、訪問看護指示書・報告書等を標準装備しているので、簡単登録できます。

電子@連絡帳の基本機能 ②

面倒なやりとりも、添付ファイルで解決。

ノート代わりにも。

「連絡ノート」の共有

連絡ノートの共有したいページを写真に 撮ってアップすれば、いちいち連絡ノートを 見に行く手間も省けます。

たまったFAXも。

「FAX」画像の共有

届いたFAXをその都度登録する習慣にして おけば、FAXがたまることもありません。

共有したい画像も。

「医療画像」の共有

病院等で撮影したCTやMRI画像も登録すれば、内外の関係者とも簡単に情報共有する事ができます。



患者の症状も。

「写真」の共有

きます。

患者の患部写真を登録して共有したり、写真 にコメントを付けたりする事もできます。

報告書や必要書類も。

「文書ファイル」の共有

医師や看護師、ケアマネなど複数が関わる 文書なども手軽に登録できます。 使いなればExcelやワードをそのまま登録で

電子署名で紙いらず。

添付ファイルを原本として共有

HPKI等の電子署名を付ければ、印鑑や郵 送などの手間がなくなります。

電子@連絡帳基本画面 ①

目的別に準備された3つの"タグ"メニュー

患者



患者情報を中心とした支援チームの情報登録・編集・管理 ができるタグです。

「患者」タブをクリックすると患者を中心に登録された支援チームの一覧画面が表示されます。

プロジェクト



目的別に特定のチームを作成し、情報登録・編集・管理が できるタグです。

「プロジェクト」タブをクリックすると一覧画面が表示されます。

その他



掲示板のようにお使い頂けるタグです。

共有したい連絡事項など、電子@連絡帳に登録されている、 すべてのユーザへ情報を発信することができ、発信内容の 登録・編集・管理ができます。

各タグメニューの2つ(一覧・詳細)の画面





プロジェクトや患者等、登録した 項目が一覧で表示されます。

詳細画面



各プロジェクトや各患者等の項目 内で登録した文書やWeb会議等が 表示されます。

新着



メッセージ画面



管理メニュー



ログインユーザーの登録情報の修正や、削除 した文書の復元・完全削除が行なえます。

電子@連絡帳基本画面 ②



地域住民への普及啓発

市民のみなさんに寸劇とPPTで解説

内容: 劇を通して知っておこう 在宅医療と介護の連携 ~こんな時どうしたらいいの?

寸劇出演者は全て市内の医療機関・薬剤師会・ 歯科医師会・地域包括支援センター・介護サービス事業者の方々です。

平成27年

11月15日(日)

午後2時~午後4時 (開場午後1時30分)

場所 桑名市民会館 小ホール





在宅医療と介護サービスの連携に関する相談窓口

~市民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう 在宅医療と介護連携に関する情報提供と支援を行います~

桑名市在宅医療・介護連携支援センター

◎ 相談日: 平日(年末年始・夏季休業日を除く)

◎ 受付時間: 午前8時30分から午後5時まで

⊕ 相談対象: 在宅医療・介護関係者、地域包括支援センター

☺ 住 所: 〒511-0835

桑名市本願寺字市之縄262-1

(桑名医師会館2階)

⑤ 電 話: 0594-22-8200

© F A X: 0594-22-8201

